

学校教育目標	学ぶことを通して、自ら課題を形成し、その課題を自ら解決し21世紀を生き抜く力をもった人を育てる。(ストリートスマート、地域リーダーの育成) 子どもたちの自己実現を支援するために次の力をはぐくみます。 * 自ら学習力の向上に努め、自立的に学び続けていく力(知) * 生命を尊重し、心身の健康を維持向上していく力(徳・体) * とともに認め合い社会参画に努め、自他および社会を高めていく力(公・開)				
	学校概要 創立 33 周年 児童生徒数: 318 人	学校長 横田 由美子 副校長 熊谷 博文	2 学期制 一般学級: 9 個別支援学級: 3	主な関係校: 高田小学校 高田東小学校	

教育課程全体で育成を目指す資質・能力	高田中ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
協働的に次代の社会をつくる力 自己肯定感・自己有用感 言語能力 情報活用能力	高田中学校 高田小学校 高田東小学校	○自らすすんで学び続ける子 ○仲間と協力してよりよい社会の実現を目指す子 ・校長ランチミーティング・12人会議・90人会議を通して、小中一貫教育の更なる推進。 ・「豊かな表現力の育成」をブロック研究テーマとした授業づくりの推進。 ・高田中ブロック「資質・能力ベース カリキュラム」の作成

中期取組目標	○明るく・楽しく・前向き(あ・た・ま)をモットーに、それぞれに笑顔と居場所がある明るくあたたかい学校づくりを「チームたかた」で目指します。 ○教職員が生き生きと学び認め助け合い、生徒理解力と生徒に寄り添った指導力の向上に努める学校を目指します。 ○生徒が自らの将来の夢や目標の実現に向かい、異なる価値観や考え方や行動を認め、大切にし合い、自ら考え誤解なく伝えようとする態度の醸成を目指します。 ○学校・家庭・地域・社会による連携・協働により、「地域・社会と共に歩む開かれた学校」づくりを一層すすめます。 ○生徒それぞれの学力の定着・向上と主体的・対話的で深い学びを促進できる授業の実践を目指します。
--------	---

重点取組分野	具体的取組
<b>生きてはたらく知</b> 担当 各教科・小中一貫教育	①全国・市学状の経年変化による分析から、「わかる」「主体的・対話的で深い学びができる」授業への改善に向けて、教職員研修を実施する。②「9年間で育てる資質・能力」を育成するために、継続的な取組を通して、生徒への変化について考察する。③学びを助けるツールであるICTの利用を推進する。
<b>豊かな心</b> 担当 学習指導部	①自他を尊重し、よりよい社会の実現に向けて実践できる生徒の育成を目指し、道徳授業の研究を推進する。②生徒の人権問題に対する考えを深めるために教職員の指導力向上を目指した研修を行う。③人権作文コンテストに全員が参加することで人権への理解と意識を高める。
<b>健やかな体</b> 担当 保健安全美化指導部・保健体育科	①健康教育や学校保健委員会を通して生徒が主体的に健康で安全な生活を送れるように支援を行う。②保健体育や部活動を通じて、生徒が体力や運動習慣について理解を深め、自ら体力向上や運動習慣の改善を目指すように助言をする。
<b>生徒指導</b> 担当 生徒指導部・特活指導部	①多様な生徒の実態に即した、生徒理解に関する職員研修を実施して、生徒の心情に寄り添った生徒指導の充実を図る。②YPを活用した教育活動を充実させ、生徒が安全・安心して学校生活を過ごし、豊かな人間関係づくりができるように支援する。
<b>特別支援教育</b> 担当 特別支援教育	①合理的配慮の必要な生徒への対応について、職員間での共通理解を図る。そのための職員研修を実施する。②特別支援機養育の必要な生徒への個別的教育支援計画・個別の指導計画作成のための研修会を実施し、該当学年・職員と話し合いをしながら作成していく時間を確保する。
<b>地域連携・学校運営協議会</b> 担当 管理職・専任・教務主任	①中学校ブロックでの「小中連携」「地域連携」についてよりよく知ってもらうために、既存のHP・学校だよりなどの広報活動の工夫をする。②引き続き外部人材などの教育資源を有効活用し、教育活動の充実を図る。③地域の子どもとしての自覚や自己有用感の醸成に活かす活動機会等の情報発信を積極的にする。
<b>公共心と社会参画</b> 担当 特活指導部・学習指導部・各教科	①生徒のSDGs意識や実社会への関心を高めるため学習と生徒の身近な社会問題を関連づける授業改善や、様々な教育資源の活用、新たな教材開発を行う。②キャリア教育(職業講話・職場体験・進路学習)などを通して、生徒が社会的・職業的自立に向けて、自分の役割と責任を自覚し、行動する力を醸成する。
<b>学校安全</b> 担当 保健安全美化指導部・生徒指導部	①学校内の施設設備・器具の点検を行うことで危険箇所の抽出をし、安全の指導を徹底することで行内事故防止に努める。②危機管理・アレルギー対応などの職員研修を実施し、行動及び確認体制の強化を図る。③よりよい教育環境を通じ安心安全快適な学校を目指す。
<b>いじめへの対応</b> 担当 いじめ防止対策委員会	①定期的に実施する教育相談や月1回実施する生活アンケートを活用し、生徒一人ひとりの変化を見逃さず、いじめの早期発見・早期対応に努める。②いじめ対応に関する職員研修を実施し、いじめを許さない体制強化を図る。③定期的にいじめ防止対策委員会を開催し、事案の経過確認を行い、再発防止に努める。
<b>人材育成・組織運営(働き方改革)</b> 担当 管理職・主幹教諭	①授業の学び合いによる授業力向上や、学校外の世界に触れる機会を設け、教職員が持続的に自発的に学び続ける文化、職場環境を築いていく②引き続きICTを活用した業務効率化と全職員参加での業務スリム化とを推進する。③「報告・連絡・相談」体制が確立した全教職員参加型の組織運営を行う。